

# 平成21年1月5日施行の株券電子化実施に伴うお知らせ

## 1. 特別口座について

### (1) 特別口座への口座残高の記帳

株券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます(平成21年1月26日に記録される予定です)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

### (2) 特別口座に記録された株式に関するお手続き

特別口座に記録された株式に関するお手続き(株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取(買増)請求・お届出住所の変更・配当金の振込指定等)につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)の連絡先にお問合せください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお取次ぎいたします。

### (3) 特別口座の口座管理機関および連絡先

特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。

口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 TEL 0120-094-777(通話料無料)

### (4) 特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期

特別口座に記録された株式についての、株主様の口座への振替請求、単元未満株式買取(買増)請求等の各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日(月)以降にお手続きが可能となりますので、ご注意ください。

## 2. 株券電子化前後における 単元未満株式買取・買増のご請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求ならびに買増請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。

### (1) 保管振替制度をご利用でない単元未満株式に関するご請求

#### ① 単元未満株式買取請求

平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。

また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いは平成21年1月30日(金)とさせていただきます。

#### ② 単元未満株式買増請求

平成20年12月12日(金)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。

### (2) 保管振替制度をご利用の単元未満株式に関するご請求

株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問合せください。

## 3. 株主様のご住所およびお名前のご登録について

株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機関(証券保管振替機構)で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関が指定した文字に置き換えのうえ、株主名簿にご登録いたします。この場合、株主様にお送りする通知物の宛名は、振替機関が指定した文字となりますのでご了承ください。



## 株式会社 エディオン

■ 本社事務所  
〒530-0003  
大阪府大阪市北区堂島一丁目5番17号 堂島グランドビル  
TEL: 06-6440-8711(代) FAX: 06-6440-8740  
<http://www.edion.co.jp>



1人 1日 1kg めざせ! 1人、1日、1kg CO<sub>2</sub>削減



エコ製品を選んで買おう

チーム・マイナス6%

エディオングループは省エネ家電フォーラム、チーム・マイナス6%に参加し、「めざせ! 1人、1日、1kg CO<sub>2</sub>削減」応援キャンペーンに協賛するとともに、省エネ型製品の普及推進に取り組んでいます。

## 株式会社 エディオン

(証券コード: 2730)

edion Corporation

第8期 中間事業報告書

平成20年4月1日~平成20年9月30日



トップメッセージ



エディオングループは、  
お客様に「豊かな暮らし」を  
お届けしてまいります。

当社は、2002年3月に中国四国九州地方を地盤とする(株)デオデオと中部地方を地盤とする(株)エイデンの持株会社として誕生しました。その後、2005年4月には近畿地方を地盤とする(株)ミドリ電化がグループに加わったことで、西日本地域におけるトップシェアグループとなりました。また2006年7月には東京秋葉原地区を中心として関東地方に店舗ネットワークを持つ石丸電気(株)が加わり、2007年6月には北陸地方を地盤とする(株)サンキュー(ストアブランド:100満ポルト)が加わりました。さらに、2007年10月には関東地方で事業を展開する(株)東京エディオン(ストアブランド:エディオン)を設立し、エディオングループは6つのストアブランドで全国展開する家電流通ネットワークに成長しました。

私たちエディオングループは、「買って安心、ずっと満足」の経営理念のもと、家電製品を単に商品として販売するだけでなく、その商品を使うことによって得られる機能・効用により、お客様の暮らしを豊かにすることをめざして事業活動を行っています。そのために、ご購入頂いた家電製品が常に最良の状態でお使い頂けるように、サービス体制の強化にも取り組んでいます。

また、省エネ型設備や技術を積極的に採用し、環境に配慮した次世代型エコストアとして、静岡県藤枝市に「エイデン藤枝店」、岡山県倉敷市に「デオデオ倉敷本店」をオープンさせるなど環境問題への取り組みを強化し、良き企業市民として豊かな暮らしを支え続けていく企業を目指してまいります。

2008年12月  
代表取締役社長

久保 允寿



営業概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融不安の拡がりによる経済減速の影響を受けた輸出産業における不振や原油高および穀物相場の高騰などに起因した物価の上昇による個人消費の伸び悩みなどにより、景気の後退色がより鮮明となりました。

当家電小売業界におきましては、地上デジタル放送のエリア拡大によるテレビやブルーレイディスクレコーダなどの映像関連商品の買い換えや北京オリンピック開催により薄型テレビの需要が盛り上がりを見せたほか、猛暑によりエアコン・冷蔵庫などが好調に推移いたしました。一方で、昨年に引き続きパソコンなどの情報関連商品が低迷したほか、携帯電話が販売方法変更により低迷するなど、商品による好不調が大きく出てまいりました。全体的には低調に推移した個人消費と競合各社との競争激化により、業界全体として厳しい市場環境の中で推移いたしました。

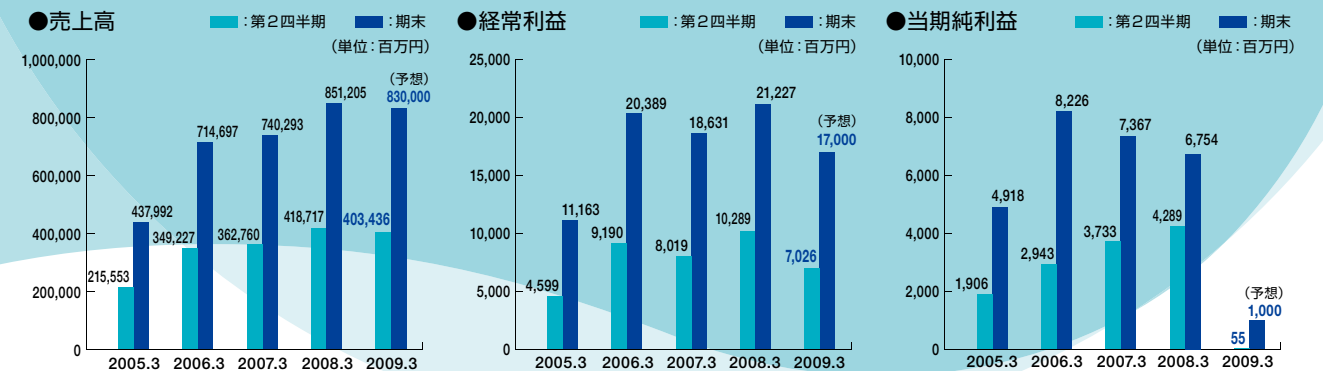
こうしたなかで当企業グループは、グループ合同での販促セールの実施や(株)エイデン創業60周年記念イベントとして「スーパー家電Live in ナゴヤドーム」を開催するなど事業基盤の強化に取り組んでまいりました。エリア戦略におきましては、関東エリアにおける事業の集約を進め、(株)ミドリ電化の関東エリア店舗2店舗を(株)東京エディオンへ譲渡し、店名を「ミドリ」から「エディオン」へ変更したほか、(株)デオデオの関東エリア5

店舗を(株)東京エディオンへ運営移管するなど、事業基盤の集約をはかるとともに、更なるグループ資源の有効活用と経営効率の向上を実現するため、2009年2月1日をもって、(株)エイデンが、(株)東京エディオン、石丸電気(株)、及び石丸電気(株)の子会社3社を吸収合併するなどの決議をいたしました。

また、店舗展開としましては、環境設備を充実させた「エイデン藤枝店」を6月に移転オープンし、9月には玩具やリフォーム、ウォッチなどを取り扱う郊外型複合店舗として「デオデオ倉敷本店」を建替オープンするなど、地域におけるシェアの拡大をはかってまいりました。これにより、当第2四半期連結累計期間におきましては、直営店の新設が14店舗、移転・建替が7店舗、増床が1店舗、閉鎖が16店舗となり、期末の店舗数はFC店舗648店舗を含めて1,080店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,034億36百万円、営業利益は16億37百万円、経常利益は70億26百万円となりましたが、株価の急落による投資有価証券の評価損を期末に計上したこと等により、四半期純利益は55百万円となりました。

今後も当企業グループは、「買って安心、ずっと満足」の経営理念のもと、お客様満足を目指し続け、大型家電量販店のトップブランドとなることを目指してまいります。



## 出店概況

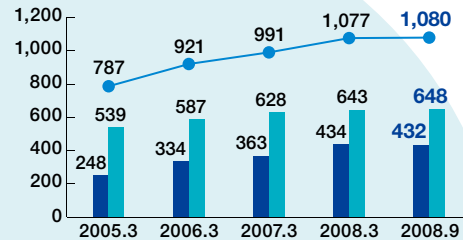
### 新規出店

ドミナント戦略により、  
店舗の効率性を重視した  
出店を進めています。

2008年度第2四半期累計期間においては、4月に「エディオン八千代店」をオープンしたほか、「エイデンサントムーン柿田川店」「ミドリ登美ヶ丘店」など家電直営店を6店舗オープンしました。そのほか、「デオデオ倉敷本店」など7店舗を移転もしくは増床し、5店舗を閉鎖しました。そのほか家電以外の直営店につきましては、3店舗をオープンし、6店舗を閉鎖しました。以上の結果、2008年9月末の直営店(RC)は2店舗減少して、432店舗となっており、売場面積は1,076,163m<sup>2</sup>となりました。そのほか、フランチャイズ店(FC)が5店舗増加し、648店舗となりました。エディオングループ合計では、2008年9月末で直営店とフランチャイズ店を合わせて1,080店舗となっています。

### ●店舗数推移

(単位：店舗)



### ●新規出店店舗(家電直営店) (2008年4月~9月)

オープン	店名	所在地
4月	エディオン八千代店	千葉県八千代市
5月	エイデンサントムーン柿田川店	静岡県駿東郡
5月	エディオン柏沼南店	千葉県東葛飾郡
6月	ミドリ登美ヶ丘店	奈良県奈良市
7月	エイデン常滑店	愛知県常滑市
7月	デオデオサンリブシティくまなん店	熊本県熊本市



デオデオ  
サンリブシティ  
くまなん店



EIDEN  
エイデン  
サントムーン  
柿田川店



MIDORI  
ミドリ電化  
登美ヶ丘店



### 新型店舗

家電製品と家電以外の売場を  
複合させた生活提案型店舗を  
展開してまいります。

2008年9月、岡山エリアの旗艦店舗であるデオデオ倉敷店を、「デオデオ倉敷本店」としてリニューアルオープン(建替)いたしました。

主力の家電はもちろん、ゲーム・おもちゃ・音楽ソフト・楽器・時計・リフォームなど幅広い品揃えで、お客様に生活全般の提案ができる新型旗艦店舗として生まれ変わるとともに、店舗の修理受付カウンターには、お客様のご要望やご質問に的確な対応をさせていただくために、家電エンジニアの有資格者をはじめとするサービスマンを配置し、大変ご好評をいただいています。

今後、エディオングループ各社における地域の旗艦店を中心に、デオデオ倉敷本店で培ったノウハウを広め、お客様にご満足頂ける店舗展開を更に推進してまいります。

### 環境問題にも配慮した店舗建設を すすめています。

エディオングループは地域密着の考えのもと、よき企業市民として地域社会との共存をはかるため、環境運動「チーム・マイナス6%」に参加しているほか、環境にやさしい省エネ型製品の普及推進など、環境に配慮した活動に積極的に取り組んでいます。

こうした考えのもと、2008年6月に環境に配慮した店舗として、エディオンエコストア1号店「エイデン藤枝店」、および2号店として「デオデオ倉敷本店」をオープンいたしました。消費電力削減のため、省エネ型空調やソーラーパネルをはじめとした環境設備の導入を行っているほか、再生材を利用した資材を採用するなど、環境に優しい店舗となっています。こうしたさまざまな対策により、例えば「エイデン藤枝店」だけで、従来型店舗の25%にあたる年間約156トンのCO<sub>2</sub>排出量(ナゴヤドーム約9個分の森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>に相当)を削減することができる見込みです。

今後も地域と環境に貢献するため、環境に優しいエコストアへの取り組みを推進してまいります。



デオデオ  
倉敷本店



●リフォームコーナー



EIDEN  
エイデン  
藤枝店



●太陽光発電パネル

## 経営戦略

### オリジナル商品

魅力あるオリジナル商品の開発に取り組んでいます。

店頭へ他社と同一商品の並ぶことの多い家電販売業界において、当社はお客様の声を取り入れたオリジナル商品の開発・販売に積極的に取り組んでいます。メーカーのプロパー製品に独自の機能をプラスした「KuaL(クオル)」や、自分好みの色でコーディネートできるひとり暮らし用のオリジナル家電「keyword(キーワード)」、安心のデバイス商品「MY&OUR(マイアンドアワー)」など、お客様のニーズに沿った商品の開発に取り組んでいます。

2008年9月現在、こうしたオリジナル商品は2,200アイテム以上にのぼり、売上構成比は24%(2007年度実績)に達しており、今後もお客様の満足度向上を目指し、より一層魅力的で利便性の高いオリジナル商品の開発に取り組んでまいります。



### サービス

いつも最良の状態で  
使い続けていただけるよう、  
万全のサービス体制で臨みます。

2008年10月より、近畿地方を中心に店舗展開をしている(株)ミドリ電化において、エディオンカードの導入をスタートしました。このカードは、既に(株)デオデオ・(株)エイデンの店舗でご好評をいただいている「eeカード」と同様、年間1,029円(税込)だけで、お買い上げいただいた5,250円以上の当社指定機種について何品でも5年間長期修理保証を受けられることが最大の魅力です。さらに、冷蔵庫・エアコンの指定商品については、10年間長期修理保証となっており、文字通り「買って安心、ずっと満足」をお約束するエディオングループならではのカードとなっています。

(株)ミドリ電化各店舗でのサービス開始により、関東中部地方と中国四国九州地方を近畿地方でつなぐことができ、お客様に今まで以上の安心と満足をご提供することが出来るようになりました。

また、エディオングループでは、お客様に最適な商品を提案できるよう接客力の強化に取り組んでおり、(財)家電製品協会の認定する家電製品アドバイザーの資格取得を推進しています。2008年6月末現在、エディオングループ合計で3,326名が資格を取得しています。



●エディオンカード

家電・デジタルのイー・ドットコム  
edion.com

### web販売

お客様の暮らしに役立つ家電や情報をご提供いたします。

2008年9月にエディオングループのインターネットショッピングサイトを、「エディオンダイレクト」から、装いも新たに「エディオン・イー・ドットコム」としてリニューアルオープンいたしました。「エディオン・イー・ドットコム」は、インターネットを通じた商品の販売のほか、グループのセール情報やお買い得情報などのメール配信も実施し、お客様への利便性向上をはかってまいります。



●エディオン・イー・ドットコム

### エリア戦略

経営効率の向上と、関東エリアにおける  
収益基盤の早期の確立をはかります。

エディオングループは、西日本を中心として店舗展開をしており、中部以西の西日本においてトップクラスのシェアを獲得しています。

そのうえで、関東エリアの店舗展開にあたっては、まず事業基盤の確立が必須との考えから、100%子会社として2007年10月に(株)東京エディオンを設立しました。その後、(株)デオデオおよび(株)ミドリ電化の関東エリア店舗を(株)東京エディオンへ移管したほか、石丸電気(株)の発行済株式の追加取得による100%子会社化実施や、既存店舗のストアブランドの変更、石丸電気(株)の秋葉原店舗の全面リニューアルなど、関東エリアでの営業力強化、経営効率の向上に努めてまいりました。

しかしながら、市場競争の激しい関東エリアにおいては、一層の事業基盤強化が必要との判断から、グループ経営資源の有効活用と経営効率の更なる向上を目的に、2009年2月に(株)東京エディオン、石丸電気(株)を(株)エイデンによる吸収合併を実施し、事業再編を行うことになりました。あわせて(株)エイデンの子会社で静岡県東部に本拠をおく(株)三石電化センターも(株)エイデンに吸収合併することにより、中部エリアから関東エリアの東日本において、(株)エイデンによる一体的な運用を行い、営業力の強化及び業務効率の向上をはかるとともに、関東エリアにおける収益基盤の早期確立をはかってまいります。

### ●会社編成図



## 連結財務諸表

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 連結貸借対照表

科目	第8期 第2四半期末 (平成20年9月30日)	第7期末 (平成20年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	21,417	34,621
受取手形及び売掛金	29,231	31,662
有価証券	2,526	651
商品	103,145	101,137
その他	18,785	22,486
貸倒引当金	△183	△212
<b>流動資産合計</b>	<b>174,922</b>	<b>190,345</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	76,678	75,379
工具、器具及び備品(純額)	7,241	6,674
土地	76,786	78,089
その他(純額)	2,161	3,145
<b>有形固定資産合計</b>	<b>162,867</b>	<b>163,289</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	3,543	4,288
その他	12,194	9,927
<b>無形固定資産合計</b>	<b>15,737</b>	<b>14,216</b>
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	37,872	36,461
その他	26,964	33,616
貸倒引当金	△539	△525
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>64,298</b>	<b>69,552</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>242,903</b>	<b>247,058</b>
<b>繰延資産</b>		
	40	6
<b>資産合計</b>	<b>417,866</b>	<b>437,410</b>

科目	第8期 第2四半期末 (平成20年9月30日)	第7期末 (平成20年3月31日)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	52,553	52,492
短期借入金	54,168	55,760
一年内返済予定の長期借入金	12,357	10,483
一年内償還予定の社債	180	300
未払法人税等	3,270	4,255
賞与引当金	5,162	5,948
ポイント引当金	9,983	9,644
その他	21,202	26,026
<b>流動負債合計</b>	<b>158,878</b>	<b>164,911</b>
<b>固定負債</b>		
社債	500	531
転換社債型新株予約権付社債	15,000	—
長期借入金	58,276	65,973
再評価に係る繰延税金負債	2,651	2,651
退職給付引当金	9,352	9,100
役員退職慰労引当金	1,067	1,066
商品保証引当金	294	—
負ののれん	2,756	3,150
その他	10,447	12,447
<b>固定負債合計</b>	<b>100,346</b>	<b>94,921</b>
<b>負債合計</b>	<b>259,225</b>	<b>259,833</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	10,174	10,174
資本剰余金	82,364	82,364
利益剰余金	58,007	59,848
自己株式	△68	△65
<b>株主資本合計</b>	<b>150,477</b>	<b>152,321</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	△63	△760
土地再評価差額金	△15,003	△15,246
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△15,067</b>	<b>△16,006</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>23,230</b>	<b>41,261</b>
<b>純資産合計</b>	<b>158,640</b>	<b>177,576</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>417,866</b>	<b>437,410</b>

(単位:百万円)

### ■ 連結損益計算書

科目	第8期 第2四半期累計 (平成20年4月1日~ 平成20年9月30日)	第7期 中間 (平成19年4月1日~ 平成19年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>403,436</b>	<b>418,717</b>
売上原価	308,308	321,947
<b>売上総利益</b>	<b>95,127</b>	<b>96,769</b>
販売費及び一般管理費	93,490	92,840
<b>営業利益</b>	<b>1,637</b>	<b>3,929</b>
<b>営業外収益</b>	<b>6,755</b>	<b>7,226</b>
受取利息及び配当金	277	317
仕入割引	5,285	5,729
その他	1,192	1,178
<b>営業外費用</b>	<b>1,366</b>	<b>866</b>
支払利息	739	693
持分法による投資損失	101	35
デリバティブ評価損	318	—
その他	206	137
<b>経常利益</b>	<b>7,026</b>	<b>10,289</b>
<b>特別利益</b>	<b>264</b>	<b>53</b>
投資有価証券売却益	124	7
固定資産売却益	5	38
前期損益修正益	70	—
その他	63	7
<b>特別損失</b>	<b>6,050</b>	<b>1,964</b>
固定資産売却損	10	25
固定資産除却損	404	703
減損損失	120	901
投資有価証券売却損	36	—
投資有価証券評価損	4,014	—
商品評価損	538	—
商品保証引当金繰入額	226	—
その他	700	332
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>1,240</b>	<b>8,379</b>
法人税、住民税及び事業税	3,020	5,092
法人税等調整額	△562	△928
少数株主損失(△)	△1,273	△74
<b>四半期純利益</b>	<b>55</b>	<b>4,289</b>

(単位:百万円)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	第8期 第2四半期累計 (平成20年4月1日~ 平成20年9月30日)	第7期 中間 (平成19年4月1日~ 平成19年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,240	8,379
減価償却費	5,757	5,171
減損損失	120	901
のれん償却額	226	330
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14	90
賞与引当金の増減額(△は減少)	△773	△175
受取利息及び配当金	△277	△317
支払利息	739	693
持分法による投資損益(△は益)	101	35
投資有価証券評価損	4,014	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,352	869
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,097	10,600
仕入債務の増減額(△は減少)	247	△7,204
その他	△1,414	1,023
<b>小計</b>	<b>10,223</b>	<b>20,397</b>
利息及び配当金の受取額	160	210
利息の支払額	△820	△775
法人税等の還付額	1,425	—
法人税等の支払額	△4,264	△8,066
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>6,723</b>	<b>11,766</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,386	△12,241
有形固定資産の売却による収入	335	2,474
無形固定資産の取得による支出	△3,237	△2,104
投資有価証券の取得による支出	△1,001	△101
投資有価証券の売却による収入	1,358	173
差入保証金の差入による支出	△2,348	△1,106
その他	△333	△10,767
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△17,612</b>	<b>△23,673</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,389	12,810
長期借入れによる収入	—	3,500
長期借入金の返済による支出	△5,822	△7,013
社債の発行による収入	14,984	—
社債の償還による支出	△120	△120
配当金の支払額	△1,054	△1,054
その他	△1,008	1,499
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,588</b>	<b>9,622</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,311	△2,285
現金及び現金同等物の期首残高	28,591	27,590
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△1,453	—
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>19,826</b>	<b>25,305</b>

(単位:百万円)

## 事業会社の状況



(株式会社デオデオ)



広島市に本店を置く(株)デオデオは、大規模直営店舗を中核として周辺に小型フランチャイズ店舗「DFS」を配置する地域密着型のエリア戦略を展開。販売からアフターサービスまで、お客様のニーズに合わせたきめ細やかなサービスを提供しています。2008年9月末現在、店舗数は695店舗(直営118店舗、フランチャイズ577店舗)を数え、中国、四国、九州エリアにおいてマーケットシェアをさらに拡大しています。



(株式会社エイデン)



名古屋市に本社を置く(株)エイデンは、総合家電事業「エイデン」のほか、ホームセンター事業「ホームエキスポ」などを展開し、お客様の幅広いニーズに対応。お客様の満足度の向上を目指し、積極的な取り組みを進めています。2008年9月末現在、店舗数は217店舗(直営148店舗、フランチャイズ69店舗)を数え、中部エリアでのマーケットシェアを一段と高めています。



(株式会社ミドリ電化)



兵庫県尼崎市に本社を置く(株)ミドリ電化は、家電、AV機器、家具・インテリアをはじめ、玩具、CD・DVDソフト、テレビゲームなど幅広い商品を展開し、お客様のライフスタイルをトータルにサポートしています。心をこめた接客からアフターサービスまで、「お客様の高い満足度」の実現に向け取り組んでいます。2008年9月末現在、店舗数は78店舗(直営78店舗)を数え、近畿エリアで高いマーケットシェアを占めています。



(株式会社東京エディオン)



東京都千代田区に本社を置く(株)東京エディオンは、2007年10月に関東エリアにおけるエディオングループの基盤を強化するため設立されました。2008年9月末現在、「エディオン」「デオデオ」のブランド名で13店舗(直営12店舗)を展開しています。2009年2月には、(株)エイデンとの合併を予定しており、今後は、(株)エイデンと一体となった営業活動により、関東エリアにおける事業活動の強化をはかってまいります。



(石丸電気株式会社)



東京都千代田区に本社を置く石丸電気(株)は、1945年の創業以来、「お客様満足主義」をモットーに、つねにお客様を第一に考えたサービスの提供に努めてまいりました。2008年9月末現在、東京秋葉原を中心に17店舗(直営17店舗)を展開しています。2009年2月には、(株)エイデンとの合併を予定しており、今後は、(株)エイデンと一体となった営業活動により、関東エリアにおける事業活動の一翼を担ってまいります。



(株式会社サンキュー)



福井市に本社を置く(株)サンキューは、北陸・北海道・山陰地方を中心に家電量販店「100満ボルト」を展開するほか、CD・DVDなどのソフト専門店「宝島王国」、修理専門店「Mr. コンセント」、携帯電話専門店など幅広い業態を展開しています。2008年9月末現在、店舗数は60店舗(直営59店舗、フランチャイズ1店舗)を数え、北陸エリアを中心に高いマーケットシェアを占めています。

## 会社状況

### ■ 会社概況 (2008年9月30日現在)

- 会社名 株式会社エディオン
- 事業内容 家庭電化商品の販売を主として行う子会社である(株)デオデオ、(株)エイデン、(株)ミドリ電化、(株)東京エディオン、および(株)サンキューなどの株式を所有し、グループの経営管理全般や商品仕入などの本部機能を担う。
- 設立日 2002年3月29日
- 資本金 101億74百万円
- 本店所在地 東京都千代田区外神田六丁目13番10号
- 本社事務所 大阪府大阪市北区堂島一丁目5番17号堂島グランドビル
- 上場取引所 東京、名古屋取引所 各市場第一部
- 正社員数 485名(単体) 10,900名(連結)

### ■ 株主メモ

- 決算期 毎年3月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪府大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777(通話料無料)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店および各支店
- ホームページ <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

### ■ 株式の状況 (2008年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 300,000,000株
- 発行済株式総数 105,665,636株
- 株主数 18,393名

### ■ 取締役・監査役 (2008年10月1日現在)

- 取締役
 

代表取締役社長	久保允吾	株式会社デオデオ取締役会長 株式会社ミドリ電化取締役会長 管理統括本部長 兼 店舗開発本部長 株式会社エイデン代表取締役社長 株式会社東京エディオン代表取締役社長 営業統括本部長 株式会社デオデオ代表取締役社長 株式会社ミドリ電化代表取締役社長 総務人事部長 兼 法務室長 営業統括副本部長 財務経理部長 兼 内部統制推進室長 株式会社ビックカメラ代表取締役社長
取締役副社長	岡嶋昇一	
取締役副社長	友則和寿	
取締役副社長	中口雄司	
常務取締役	藤川 誠	
取締役	船守精一	
取締役	麻田祐司	
社外取締役	宮嶋宏幸	
- 監査役
 

常勤監査役	高橋圭治	株式会社ミドリ電化監査役
監査役	石田勝治	
社外監査役	異相武憲	株式会社エイデン監査役
社外監査役	沖中隆志	株式会社ミドリ電化監査役

### 株主優待

当社では多くの皆様に株主になっていただきたく、「株主様ご優待制度」を設け、エディオングループでのお買い物にご利用いただける優待券を贈呈しております。

#### ● 対象は100株以上保有の株主様

対象となる株主様は、毎年3月31日現在の(株)エディオンの株主名簿および実質株主名簿に記載された100株以上保有の株主様です。保有株数に応じて、15枚から250枚の優待券(1枚200円)を贈呈いたします。

#### ● 優待券のご利用はエディオングループで

(株)デオデオ、(株)エイデン、(株)ミドリ電化、(株)東京エディオン、石丸電気(株)、(株)サンキューの各店舗(子会社、フランチャイズ店舗を含む)、およびインターネットショッピング(エディオン・イーネットコム <http://www.edion.com/>)でお買い物の際、お買い上げ金額2,000円(税込)ごとに優待券1枚をご利用いただけます。

■ 優待券発送時期/毎年6月の定時株主総会終了後に発送の予定です。 ■ ご利用期限/7月1日から翌年6月30日までの1年間です。

